



大野 徹行 議員

県道菅谷寄居線の歩道整備について 答 歩道幅員の見直しをします

1日でも早く整備を

問 平成30年10月29日に説明会があり、翌31年2月に境界確認杭が打たれた後何の動きもありません。どうなっていますか。

答 まちづくり整備課長 県に確認した所、両側25cm計50cm狭くして再確認杭を打ち順次交渉に入りますとの事でした。

再問 志賀小学校への通学路であり、この先ホンダ技研の寄居工場への全面移管も迫っており交通量が日増しに増えています。保護者からも要望が出ております。早期に着工出来るようにお願いします。

来るようにおねがいしたい。

再答 まちづくり整備課長 県では台風19号被害の復旧に予算と時間が掛かってしまっただが順次交渉に入り早期着工出来る様努力するとの事です。

再問 土地を提供した場合現住所の地番は

どの様に変化しますか。
再答 まちづくり整備課長 元の地番を100番地とした場合、枝番として10001及び10002となり11が現住所番地で12を提供して頂きます。その際、現住所変更手続きは誰が行うのか。



県道菅谷-寄居線=R2.10.26

再問 まちづくり整備課長 原則として地権者自身です。
再問 年寄一人住まいで事務処理等が不可能の場合は。
再答 まちづくり整備課長 家族・親戚等の頼れる人がいない場合は町でもお手伝い出来ます。

高齢者外出支援タクシー券について

問 タクシー券は1日最大何枚まで使用可能なのか。

答 長寿生きがい課長 1回1枚の使用であり、枚数では決まていない。
再問 例として、古里から嵐山病院へ出か

けたとする。通常料金2260円として往復で幾ら現金で支払うのか。
再答 長寿生きがい課長 行きは迎車料金400円が追加され2600円の半額1330円で帰りはタクシーが病院にいたとして2260から1000円引かれた1260円を支払う。

再問 合計では2590円を支払う訳だが、高齢の国民年金しか頂いていない方には大きな金額です。500円券を制限付けずに使用可能にして頂きたい。
再答 町長 現在も試行中であり住民の使い勝手の良い方向で検討します。



川口 浩史 議員

今後のゴミ処理はどのようにするのか 答 衛生組合管内で検討委員会を設置し協議しようとする

駅西、本当にじゅようはあるのかね

問 小川地区衛生組合管内の今後のゴミ処理をどう考えているのか。

答 環境課長 「小川地区衛生組合可燃ごみ処理のあり方検討委員会」を本年8月12日に設置した。検討事項は(1)現在の施設を改修し継続して使用する。(2)民間委託に切り替える。(3)新施設を建設する。の3つの中から今後の方向性を決定する。決定は今年度内である。

駅西口開発は必要があるのか



小川地区衛生組合焼却施設

問 駅西口に大型バスが入れるロータリー整備計画は必要があるのか。

とみているのか。また佐久間町長はこの計画を継承するのか。

答 まちづくり整備課長 バーベキュー場やラベンダー園、それに女性教育会館などがあり大型バスが入れないのはマイナスである。また需要は観光施策が実ればあると考えている。なお事業費は当初14億円とみていたが精査をした結果7億円で整備できるようになった。

再問 町長 これは長年の懸案であり嵐山町の玄関口にふさわしい状態にするためにも計画を進めてゆく考えである。

川島川の大腸菌数は依然として高い。原因は

問 川島川の水質調査の結果は。
答 上下水道課長 水質調査結果は1000の大腸菌数は本年1月7千、5月160万、8月13万、基準値は5000である。

再問 浄化槽法が改正され除去や改善を求めることができるようになった。川島川の流入上流部に不備な浄化槽があれば改善を求めてゆくべきでないか。
再答 上下水道課長 浄化槽の不備というより下水管の傾斜が少ないところがあり、そこに排水がたまり大腸菌が増殖するものと思われる。今後はカメラを入れ調査したいと考えている。